

二宮小学校だより

2月
3月



令和3年
3月22日発行

卒業式を明日に控え、今年度もあとわずか
で終わりを迎えようとしています。振り返り
ますと、4月～5月の2か月にわたる一斉臨
時休業で年度が始まり、6月1日ようやく
学校が再開され、全校の子どもたちが揃っ
たのは6月29日。また、2週間だけの夏休み、
学年ブロック別の「にのリンピック」やリモ
ートでの「ありがとう6年生集会」といったよ
うに、これまで誰も経験したことのない1年
となりました。

この1年、3密を避けること、マスクを着け
ること、手洗いをしっかりとすることといった「新
しい生活様式」を学校に取り入れ、新型コロナ
ウイルスへの感染リスクを減らしながら教育活
動を進めてきました。また、教室の窓を開けて
常に換気をする、机の前後左右の間隔をあける、
給食は、机を向かい合わせにせず会話を控える
ことなども行ってきました。

これらの「新しい生活様式」や換気、ソーシ
ャルディスタンスの確保などは来年度も続けて
いきます。学校は、子どもたちの成長にとって
真に欠かすことができないものは何かという視
点から教育活動を考え、実施していきます。

保護者の皆様におかれましては、どれが正解
かわからない中、感染症対策を講じながら教育
活動に取り組んできたことに対し、ご理解・ご
協力いただきましたこと、誠にありがとうございました。
また、地域の皆様、子どもたちの安心・安全な登下校の見守り、校内の環境整備や
教育活動へご協力いただいたことに心より感謝
申し上げます。

これまでの学習より

1年生は、生活「じぶんでできるよ」の中
で、「二宮小かるたづくり」に挑戦しました。
小学校の生活で経験したことをかるたにし、
文と絵で表しました。例えば「さっ、さっ、



さっ、そうじはちゃんとやりましょう」や「き
ょうしつはべんきょう
するところだ」、「しー
んとしているテストの
じかん」などです。1

年間の学校生活で多くのことを学び大きく成
長しました。

生活「おもちゃランド」で楽しそうに遊ぶ
2年生の様子をのぞいてみました。風を受け
て進む車、とことこガメ、まとあて、紙ずも

う、くじびきつり、魚つり、UFOキャッチ
ャー、ボウリングなどなど、それはそれはた
くさんのおもちゃが並べられていました。そ
して、他のクラスの友達にそれらのおもちゃ
で楽しく遊んでもらうために、ルールを考え
たり、遊び場の地図をかいたり、遊びのポイ
ントを掲示したり、こだわったところを紹介
したりといろいろな工夫をしていました。こ
の遊び方やルールを考え、自分たちで工夫し
て活動することが、ここでの大切な学習です。



次は、3年生の総合「二宮みらいプロジェ
クト」。二宮町のよさを未来につないでいくた
め、様々な角度からアイデアを出し、発表
しました。特産品の開発（菜の花クッキー、
みかんクッキー、マーマレードジャム）、しい
たけ料理のレシピ、自然保護（きれいな山や
きれいな海を守ろう）、みやげもの（にのみや
まんじゅう）、観光地（葛川温泉）などです。
また、自然と生き物、歴史の3つから「吾妻
山図鑑」を作った子どもたちもいました。

二宮町の宝を知り、それをどう未来につな
げていくか、3年生のアイデアが現実のもの
になるときが来るかもしれません。



次に、4年生の総合「福祉について考えよ
う」を紹介します。4年生は毎年「福祉」を
テーマに総合的な学習に取り組んでいます。
例年ですと、二宮町社会福祉協議会の方々に
ご協力いただき、高齢者体験を行ったり、目
の不自由な方や車椅子で生活されている方か
らお話をうかがったりしながら学習を進めて
いたのですが、感染症予防のため行うことが
できませんでした。

そこで、今年の4年生は、プログラミングを利用した支援の仕組みを考え、実践しました。例えば、足の不自由な方が階段に差しかった際、そこに設置されているボタンを押すと音楽が鳴り支援者を呼ぶ仕組み、また、目の不自由な方が階段に近づくとセンサーが感知し、階段の存在を知らせると同時に支援者を呼ぶ仕組みなど、プログラミングを体験しながら取り組みました。

この学習を通して、相手の立場に立ち、その人の目線で考える、そのことの大切さを学んだと思います。

次は、5年生の総合「4年生に伝えよう、お米の大切さ」の紹介です。1学期から2学期にかけて自分たちの力で米を育てた5年生。3学期は、これまでの学習で疑問を持ったことから課題を見つけ、情報を集め、まとめていきました。内容は、平塚で生まれたお米「はるみ」、害虫や害鳥への対策、アイガモ農法、昔の米づくり、コメの消費量問題、農業機械の進歩などなど。そして、来年度、お米について学習する4年生にわかりやすく、簡潔に伝えることをねらいとしてまとめ、リモートで発表しました。現在、4年生の廊下に学習の成果をまとめた5年生の作品が掲示されています。



ありがとう6年生集会

これまでは、体育館に全校の子どもたちが集まり、いろいろな場面でお世話になった6年生に対し、学年ごとに感謝の気持ちを伝えていました。しかし、今年は感染症防止のため、リモートで行いました。前もって録画しておいた各学年からの感謝の気持ちを伝える出し物と、6年生からのお礼の気持ちを伝える歌の映像を全校児童で見ました。リモートであっても、それぞれの学年の思いや気持ちが十分に伝わってきました。



では、各学年からのプレゼントを紹介しましょう。

まずはじめは3年生。「炎」の歌を手話で表しました。「コロナのため、声に出さないで感

謝の気持ちを伝えるには手話がいい」と考えた3年生。難しい歌詞でしたが見事に演じきりました。

次に1年生。「いけ！いけ！ぴっかぴか」のダンスとともに、「おそうじを教えてくださいありがとうございます」「登校班で見守ってくれてありがとうございます」など感謝の気持ちを伝えました。

そして4年生。図書室、理科室、音楽室、昇降口、体育館、屋上など学校生活の思い出が詰まった場所で「恋ダンス」を披露。また、黒板に「ありがとう6年生」のメッセージが完成されていく映像を流しました。

2年生は「パプリカ」のダンスとともに、6年生のすごいところとして、「委員会をがんばってくれました」「1年生にそうじや給食の配膳のしかたを教えてくださいました」など感謝の気持ちを伝えました。

在校生の最後は5年生。クラスごとに「Dynamite」のダンス、くす玉や紙ふうきでのメッセージ、国語で学習した論語調でのメッセージ、「3月9日」の替え歌、この4つで感謝の思いやお礼のを伝え、最後に黒板アートを映し出しました。



最後に、6年生からのお礼の合唱「旅立ちの日に」、そして在校生に向けて次のようなメッセージが送られました。

- 1年生へ：新しい1年生にやさしくしてあげてください。
- 2年生へ：新しく理科や社会が始まりますね。がんばってください。
- 3年生へ：クラブ活動が始まりますね。がんばってください。
- 4年生へ：高学年になるので委員会が始まります。委員会は学校生活を支えるものです。
- 5年生へ：最高学年です。二宮小を引っ張っていく頼もしい6年生になってください。

最後に語られた次のような6年生の言葉から、今回の「ありがとう6年生集会」の意義を感じることができました。

「今年は、新型コロナウイルスでいろいろな行事が中止になり、例年のように学校生活を送ることが難しくなりました。しかし、このような形でできたことをうれしく思います。」

しかし、「旅立ちの日に」は録音した音声の具合があまりよくなく、残念そうに、悔しそうにしている6年生の姿が。そのため、後日、きれいな生の歌声を在校生に届けました。

